



SCOPH  
Public Health

2012/09/18

地域医療ツアー

報告書

作成者：日本大学医学部 3年 垂水政人

作成日：2012/10/24

## 佐久総合病院ツアー

日時	2012/09/18
目的・対象	病院見学・JA 長野厚生連佐久総合病院地域ケア科
参加人数	2名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・朝カンファレンス見学</li><li>・午前訪問診療見学</li><li>・訪問看護ステーション、カンファレンス見学</li><li>・午後訪問診療見学</li><li>・見学反省会</li></ul>
自由記載欄 (感想、反省など)	<p>朝のカンファレンス後、午前は訪問診療に同行し、訪問看護ステーションでのカンファレンス、午後は午前とは別の先生に同行して訪問診療の様子を見学させていただきました。訪問先の患者さんやそのご家族の多くが先生方の訪問をととても喜んでいる様子に見え、将来地域医療に従事していきたいと考えている自分は、実際に現場に努めるようになってから訪問診療を行っていきたくと思いました。また、患者さん1人1人のノートがあり、訪問看護やデイサービスなどでの様子を記入することで多職種間での情報共有を行い、その患者さんの様子を伝えあい、より良いケアを実現していることがわかりました。こういった多職種間の連携で実現する医療体制が患者さんの安心につながっているのだと思います。どんなお年寄りだって自分が住んでいる町で安心して暮らしていけるほうがいいと思います。そしてそれを実現するために努力を惜しまない佐久総合病院の医療体制、職員の努力を羨ましく思いました。ここの地域医療のモデルケースは人材もあるし、熱意のある方がたくさんいて、理想的な環境だと思います。住環境に苦しむ面もあり、人手不足の否めない自分の出身地で同じような医療体制を実現したいですが、やはり同じようにはいかないと思います。今回見て学んだものを自分が将来実現させたい医療体制の一例とさせていただいて、自分にしかできない医療を築きたいと思います。また、先生方と多くの話をさせていただいて、自分が医師になっていく上でどのよ</p>

	<p>うな道を進んでいけばいいのか、たくさんのアドバイスをいただきました。まだ医学部の3年生という身分で自分の進む先を考えるには早いとも思いますが、最近は何んばかりで先があまり見えていませんでした。ですが、お話を聞いて自分の進む方向が見えた気がします。これから医学を学んでいく上で考え方が変わることもあると思いますが、医療に関する知識も増えて成長した時に、機会があればもう一度佐久総合病院に見学に行きたいと思えます。</p>
スタッフ	<p>活動責任者：野村朝子（北海道大学医学部2年：連絡担当、当日不参加） 垂水政人（日本大学医学部3年）</p>

写真

